

1 2 地方発の国際的な平和貢献活動への支援について

(外務省)

提案の要旨

地方発の国際的な平和貢献活動への支援

現状及び課題

【現 状】

平成15年3月に「ひろしま平和貢献構想」を策定し、「創り出す平和」の理念に基づき、平和研究機能や人材育成機能などのネットワークを構築するとともに、情報やノウハウなど地域の有する資源を集約し、広島からのメッセージの発信と、国際平和協力への具体的貢献を図っている。

平成15年7月に開設されたユニタール（国連訓練調査研究所：UNITAR）アジア太平洋広島事務所では、広島において15本の研修プログラム等を実施している。

【課 題】

地域が平和貢献活動を推進するためには、地元関係機関のみならず国の協力が必要である。

ユニタール広島事務所の設置は、中国・四国地方で初めての国連機関設置であり、円滑な事務所活動のためには、地元関係機関のみならず国の協力が必要である。

これまでの取組状況及び前年度提案結果

【取組状況】

平和貢献構想推進事業

- | | |
|-------------|-------------------------------|
| 平成14年3月 | 広島県と総合研究開発機構との共同研究「記憶から復興へ」 |
| 平成15年3月 | ひろしま平和貢献構想策定 |
| 平成15年9月 | カンボジアを対象とした復興支援のための第1回現地調査の実施 |
| 平成15年～17年 | 「ひろしま国際平和フォーラム」シンポジウムの開催 |
| 平成16年3月 | カンボジアを対象とした復興支援のための第2回現地調査の実施 |
| 平成16年9月 | カンボジアを対象とした詳細調査及び支援活動の試行の実施 |
| 平成17年11月～現在 | カンボジアを対象とした復興支援プロジェクトの実施 |

ユニタール広島事務所

- | | |
|------------|---|
| 平成15年5月 | ユニタール支援と平和貢献活動を推進するための地元連携組織「ひろしま平和貢献ネットワーク協議会」設立 |
| 平成15年7月 | ユニタールアジア太平洋広島事務所開設 |
| 平成15年11月 | 広島事務所開設記念国際会議「紛争からの復興」の開催 |
| 平成16年3月～現在 | 研修ワークショップの実施 |

(最近の実施状況)

- | | |
|----------|-------------------------------|
| 平成18年3月 | 「世界遺産の管理と保全に関する研修ワークショップ」 |
| 平成18年5月 | 「開発資金のための外国直接投資に関する研修ワークショップ」 |
| 平成18年10月 | 「海洋と人間の安全保障に関する研修ワークショップ」 |

【前年度提案結果】

外務省ODA一般会計予算（全国枠国費） 454,359百万円（対前年度比96.0%）

提案の内容

地域が行う平和貢献活動に対して支援をすること

紛争終結国や地域において、広島県等地域が行う復興支援活動などの平和貢献活動に対して、ODA資金の充実に配慮するとともに、国において、国際平和協力の推進体制の整備・充実に当たっては、広島県との連携や協働について配慮すること。

ユニタール広島事務所の活動に対して支援をすること

事務所の事業は、主として開発途上国の経済開発を目的とした研修プログラムの実施となるため、ODA資金の充実に配慮すること。

参 考

【ユニタール広島事務所の概要】

名 称	UNITAR Hiroshima Office for Asia and the Pacific 国連訓練調査研究所（ユニタール）アジア太平洋広島事務所
開設時期	平成15年7月15日
設置場所	広島商工会議所ビル5階
職 員 数	国際スタッフ2人，ローカルスタッフ5人程度
事業計画	アジア太平洋地域を対象に，年間6本程度の研修プログラムを実施